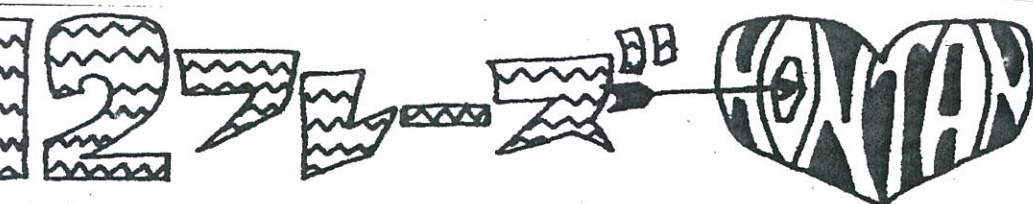


HONTAN

図書館ボランティア「本探」が
旬の図書館情報をお知らせします。
2014年7月号
(第48号)



今回のテーマは、
「一度は言ってみたい！
かっこいい一言」
です。

<p>伊えの上のおすすめ 東野圭吾 9/13.6/H 『容疑者Xの献身』 「触るな！せめて、泣かせてやれ」 警官が容疑者を取り押さそうとした時に、湯川が放った一言。</p>	<p>Cielのおすすめ 湊かなえ 9/13.6/M 『告白』 「自分を大切にしよう。ヤリ直しはたった今かうでもできるのだから」 本作品に登場する世直先生の台詞です。</p>	<p>七味のおすすめ 村山由佳 9/13.6/M 『青のフェルマータ』 「私はずっと君のそばにこうしているから。いつだって見ていてあげるから」 恋人から言われた別れの一言。</p>
<p>まおーのおすすめ 橋本紡 9/13.6/H 『流れ星が消えないうちに』 「じゃあ、上を見てみろよ。月がさ、きれいだぞ」 主人公が彼氏から電話で言われた一言。</p>	<p>まいのおすすめ 伊坂幸太郎 9/13.6/I 『陽気なキングが地球を回す』 「何が起きるか分からない(まうが)生きていくのは楽しい」 予定外のことが起きたときの仲間の一言。</p>	<p>naoのおすすめ カート・ヴォネガット Jr 伊藤典夫訳 9/13.7/V 『猫のゆりかご』 「嘘の上にも有益な宗教は築ける」 作品を読んだと、意味がより理解できて、更にかっこいい！</p>
<p>鶏のおすすめ 有川浩 9/13.6/A 『塩の街』 「俺の嫁さん」 年齢差なんて、異常事態なんて、関係なく言い放つ。</p>	<p>メレンゲ地味男子のおすすめ ジェームズ・P・ホーガン 池央取訳 9/13/H 『星を継ぐもの』 「よし、これで貴様とおれの一騎打ちというわけか、え？」 一人生き残った兵士は宇宙に悪態をつく。</p>	<p>のぞみのおすすめ 小川洋子 9/13.6/O 『博士の愛した数式』 「君の利口な瞳を見開きなさい」 目に見える世界を支える、目に見えない世界を見るために。</p>
<p>EIのおすすめ 池井戸潤 9/13.6/I 『下町ロケット』 「やはりビジネスの基本はお互いの信用ですから」 銀行の融資を断った際、言った殿様のお言葉。</p>	<p>SOUのおすすめ 市川拓司 9/13.6/I 『そのときは腹(に)よろしく』 「誰もか誰かと誰かの融媒で、世の中は様々な化学反応で満ちている」 幼馴染との再会を果たした主人公の父親が言った言葉。</p>	<p>きょうのおすすめ コナン・ドイル 9/13/D-9 『四つの署名』 「力があっても、それを動かせるべき舞台がないのじゃ全く始まらないのよ」 ホームズにはその力がある。</p>



「芸術新潮」6月号

芸術新潮は、あらゆることを「芸術」という視点から見て書かれている雑誌です。6月号は「坂東玉三郎」特集。人間国宝に指定されており、女形としてその美しさで歌舞伎界を引っ張ってきた玉三郎さんの多彩な活動と新たな挑戦が書かれています。

また、新たな歌舞伎の魅力が伝わる特集となっています。連載では、淨瑠璃や茶碗、さまざまな絵画等について書かれており、芸術にとっても興味をわく内容となっています。

『青い鳥』 重松清 913.6/S



村内先生は、中学の非常勤講師。国語の先生なのに、言葉がつかえてうまく話せない。でも先生には、授業よりもっと大事な仕事がある。いじめの加害者になってしまった生徒、父親の自殺に苦しむ生徒、気持ちを伝えられずに抱え込む生徒、家庭を知らずに育った生徒。

私は学校があまり好きではなかったのですが、読んでいて村内先生のような大人がいたらなにか変わっていたと思うし、好きになれていたと思う。生徒によりそって大切なことを伝える。教師はただ勉強を教えてあげればいいというわけではなくて、ちゃんと心の授業をすることも大事なのだと感じた。

ひとりぼっちの心にそっと寄り添い、本当に大切なことは何かを教えてくれて、「正しいことではなく、大切なこと」を教えてくれる先生。思春期に抱える矛盾や悩みを温かく見守ってくれる姿に自然と惹きこまれた。たいへん胸にぐっとくる、また読みたいと思わせてくれる一冊。

< 伊え上 >

『DIVE!!』 森絵都 913.6/M



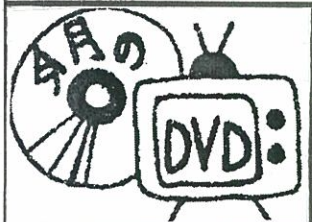
この頃暑くなって夏の到来を感じますね。夏は幼いころだと毎日のようにプールに行き泳いだり、友人と水をかけて遊んだりプールに関するものばかり思い出します。他にもプールの水が鼻に入って痛くなったことや、泳いでいる途中でゴーグルが曇ってしまい、前が見えなかったことなどのイブニングも今と変わって

いい思い出です。今回そんな私が紹介する本は森絵都さんの『DIVE!!』です。見聞きした方も多いのではないでしょうか。主人公である知季とその仲間たちの、つまずいたりもするけれど青春のすべてを飛び込みに捧げ、成長していく姿に注目です。

そして、思春期の彼らの複雑な思いや葛藤は誰も通った道ではないでしょうか。この作品は、海の風景や蝉の鳴き声といった音、木々の香りなどが丁寧に書かれていて、四季それぞれの情景を思い浮かべながら読むのが、私は好きです。

本格的な夏に向けて読んでみてはいかがですか！

< きい >



『のぼうの城』 778.72/N

天下統一目前の秀吉に唯一残された敵、北条勢。周囲を湖で囲まれた

た「浮き城」の異名をもつ「忍城」もその一つ。忍城ではその不思議な人柄から、農民たちより「のぼう様」と呼ばれる成田長親が城を治めることに。武将として名を挙げるため石田三成は、秀吉より預かった2万の兵を進め、忍城に迫る。すぐ降伏することを覚悟する忍城軍だったが、三成軍のなめまった態度に長親が思いもよらない言葉を発する。「戦いする」そして、誰の目にも絶対不利な、たった500人の軍勢対2万の大軍の戦いの火が切が切れて落とされた！作品の見どころはズバリ、長親の巧みな策と、それに翻弄される豊臣軍！単行本も図書館で貸し出して

展示でみつけて

学生展示

今回のテーマは「ホラー」です。読んでいる最中に、思わず後ろを確認してしまうような、ホラー小説を集めました。「3日の金曜日」にちなんで3冊を紹介しますよ。ホラー小説は大きく分けると「人間の怖さ」と「幽霊の怖さ」の2種類です。あなたはどちらのホラーがお好みですか？

DVD展示

今回は「びがひつにる映画」特集です。近頃日本では東日本大震災やサッカーワールドカップなど団結して何かを行う、乗り込めるといふ気持ちが大事だとメディアでよく言われていますよね。団結することは難しいことですが、やはり力を合わせるのは必要なこと！映画から学びましょう！

こんにちは！最近、家のパソコンが壊れたせいか大号泣した、あんこです..。早く修理から戻ってこないかな、と本を読みながら待っております。

